

国語総合からのつながりと学習の発展



赤井益久

(三省堂国語教科書編集委員)

改訂のポイント

今回の『高等学校古典 漢文編』の主な改訂方針は、大きく三つある。一つは、全体を、導入部分から学習の発展を意識したものにしようということ。二つ目は、古典の定番のほかにできるだけ生徒の関心興味を引く教材を採録しようということ。そして、三つ目は、選択の幅を考慮して、できるだけ、読んで考えさせ、自分で鑑賞する能力を涵養する教材を増やしていこうというものであった。

導入と発展に関し特に意識したのは、すでに『高等学校 国語総合』を学んだ生徒を対象に、改めて古典に親しんでもらおうとの配慮と、二年間にわたる学習を計画的に進めていただけるように構成するという目的からである。教科書を大きく二部構成にしたことは、その最も大きな改訂である。

改訂前の教科書と比較すると、「小話」「漢詩」「文章」「史伝」「思想」「小説」といった主な教材の流れは変わらないが、今回第Ⅰ部の「小話」を全体の導入に位置づけ、その後「漢詩」「文章」「史伝」「思想」と続けた。第Ⅱ部では、新たな教材である「三国志の世界」を導入的な教材に置き、「小説」や「長恨歌」「日本の漢詩文」を配した。

新たな教材

『三国志』を新たに教材化したのも、コミックやゲームで親しんでいる人物や歴史的な世界から漢文の原典へ興味や関心を持ち、積極的に学ぶ動機となるようにとの考えからである。

漢詩は、第Ⅰ部に近体詩、第Ⅱ部に古体詩と区分し、第Ⅰ部では、唐宋の詩人を配した。第Ⅱ部では、主に唐宋以前の

詩歌を採録したが、李白と杜甫の古体詩はこちらに移し、新たに漢の武帝の「秋風辞」を加えた。これは、従前「古詩十九首」から二首採録したのを一つ減じ、中国詩歌の源流の一つでもある楚辞系の詩歌を見ておこうとの配慮からである。

「思想」では、これまで儒家・道家を中心に教材を選んできたが、今回の改訂では、古典学習の選択幅や時間数の拡大などを視野に入れ、第Ⅰ部では儒家と道家を配し、第Ⅱ部では儒家と諸子として教材を増やした。特に、第Ⅱ部の諸子は老荘以外の代表的な思想家である荀子・墨子・韓非子・列子の主張を取り上げた。簡潔な中に、それぞれ独自の主張を展開する論理的な文章を読み解く力をつけるのが目的である。

意図と工夫

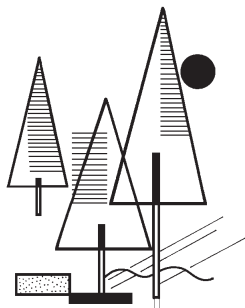
古典分野の編集委員は、いずれも同じ思いに駆られていると思うが、どうしても手にとって読んでもらえるか、あるいはいかにしたら教材に親しんでもらえるか、に腐心している。

したがって、まず目次において教科書の全体像を示し、教壇に立つ先生がたには、教材の單元ごとの流れと時間配分が

おのずと理解されるよう工夫した。また生徒には、『三国志』のような、一つ一つの作品に関心を持ち、興味を持って触れてもらえるよう新たな教材を採用した。漢詩には、できるだけ詩の世界をイメージできるような写真・挿図を増やした。

また、それぞれの作品の理解と結びつきながら、さらに中国文化とわが国との文化的な交流や受容に関するコラムを大幅に増やし、教科書理解の手助けとなるように工夫した。

このような配慮と工夫を通して日常の学習に興味を持ち、体系的な古典理解と総合的な国語力養成が達成されるよう意図した。教材の量としては、改訂前の一割五分程度の増加となった。



あかい ますひさ 國學院大學教授。博士(文学)。専門は、特に中国中世文学、中国古典語法。

高等学校古典―漢文編

第I部

一 小説

季札劍を挂く(蒙求)
管鮑の交はり(十八史略)
食指動く(春秋左氏伝)
饅頭を畏る(笑府)

二 漢詩

(近体詩)

江雪(柳宗元)
早発白帝城(李白)
従軍行(王昌齡)
楓橋夜泊(張継)
春夜(蘇軾)
過香積寺(王維)

登高(杜甫)
左遷至藍関示姪孫湘(韓愈)

八月十五日夜、禁中独直、
对月憶元九(白居易)
遊山西村(陸游)
桃花源記(陶潜)
漁父辞(屈原)

三 文章

○漁師と隱者
春夜宴桃李園序(李白)

四 史伝

△「史記」の世界▽(司馬遷)
鴻門之会
四面楚歌
烏江亭
〔参考〕題烏江亭(杜牧)

五 思想

△儒家・道家の思想▽
論語 孟子
老子 莊子
○儒家思想と教育

第II部

一 史伝

△「三国志」の世界▽
乱世の姦雄(十八史略)
左右敢へて近づく者莫し(世説新語)
髀肉皆消ゆ(十八史略)
此の人就きて見るべし(三国志)
当に刮目して相待べし(十八史略)
進んで赤壁に遇ふ(十八史略)

二 漢詩

(古体詩)

上邪
陟岵(詩経)

勅勒歌
生年不滿百
秋風辞(漢武帝)

飲酒(陶潜)
把酒問月(李白)
兵庫行(杜甫)

三 小説

人面桃花(孟棻)
杜子春伝(李復言)

四 文章

赤壁賦(蘇軾)
捕蛇者説(柳宗元)

○日本の漢詩文

◆近世 菅茶山 頼山陽

◆近代 広瀬淡窓 夏目漱石
森鷗外

五 漢詩

○日本の漢詩文
長恨歌(白居易)
○『白氏文集』の受容

六 思想

△儒家・諸子の思想▽
論語 孟子
莊子 荀子
墨子 韓非子
列子